

ID番号
病名（他に考える病名）

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME 様

症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

担当医師

@USERNAME

印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	月日	月日	月日	月日	月日～月日	月日～
経過	手術前日入院	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目～退院
目標	不安なく手術に臨める。	手術にいく前の準備		食事が摂取できる。 歩行できる。	創に問題がない。 自分で着替えができる。	創に問題がない。 退院できる。
検査	□（ ）時から核医学室で注射と撮影があります。 □入院後～手術前までの間にエコー、手術部位へのマーキングを行います。（手術当日に行う場合もあります）	□パンツ以外の下着を脱いで、病衣に着替えてください。 □化粧やマニキュアを落としてください。 □血栓予防のストッキングを装着します。 □義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 □貴重品や鍵は、ご家族の方に渡してください。		採血、レントゲンを行います。		
処置	□手術後に使用する胸帯とストッキングのサイズを測ります。	点滴 酸素吸入 蓄尿袋 廃液バック		医師の診察後、胸帯をとります。（創部の状態で圧迫を継続することがあります。） 午前中に尿の管を抜きます。	創部の確認をします。	排泄の量をみて、量が少なくなったら、創部の管を抜きます。通常、創部の管を抜いたら、翌日退院です。
治療		がんばりましょう！	手術後は創部に管を挿入し排泄します。創部は胸帯で圧迫し、医師の指示があるまで酸素吸入をします。痛みや吐き気があるときは我慢せずに教えてください。	創部に溜まった液を管から排泄します。		
観察	体温、脈拍、血圧測定を行います。		体温、脈拍、血圧測定を行います。 創部に挿入された管の排泄や創部の状態を確認します。			
注射		点滴はありません。 手術室で点滴を行います。	手術後は、持続点滴を行います。	点滴を抜きます		
内服	普段内服している薬を確認します。 夕食後に下剤を飲みます。希望時は眠剤を飲むことができます。	朝に内服薬がある場合はお知らせします。	医師の許可があれば、痛み止めや胃の薬、普段飲んでいたお薬を内服できます。	□朝から痛み止めと胃の薬を飲みます。 □普段飲んでいたお薬は医師の許可があれば内服できます。	歩くときは排泄バックを携帯してください。	
食事	□夕食後～絶食 □（ ）時から絶食	（ ）時～絶食水	□医師の許可がでてから水を飲むことができます。	□朝から食事がはじまります。	管をひっぱらないように、注意してください。	
行動	入院前と同じように、トイレ・洗面、シャワー浴ができます。	朝起きたら手術に行く前の準備をして下さい。8時30分頃になったら看護師と一緒に歩いて手術室に行きます。手術中、家族の方は病棟ラウンジでお待ちください。	ベッドで寝返りをしたり、座ることができます。うがいや歯磨きなどはベッド上で行います。	尿の管を抜いた後は、歩くことができます。お身体を拭きます。	髪の毛を洗ったり、下半身のシャワー浴ができます。 上半身はタオルで拭きます。 リハビリテーションは自分のペースで毎日続けて下さい。	
説明	病棟看護師より手術の説明があります。午後から麻酔科医師と手術室看護師より、手術前の説明があります。		手術後、医師から手術結果をご家族に説明します。	リハビリテーションの説明があります。		看護師より「退院後の生活」「補整下着」「自己検診方法」などについて説明があります。

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2）入院期間については現時点で予想されるものです。

注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有

無

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名：

続柄：

（連絡先）

乳腺外科外来：024-547-1221

みらい棟4階東病棟：024-547-1629